

秋季セミナー・現場見学会特集

秋 季 セ ミ ナ ー

9月25日にメルパーク東京にて秋季セミナーが開催され、野崎正和会長より挨拶がありました。

経済は非常に上向きになってきたのはいいですが、トンネル業界は仕事が多く発注され、これは嬉しい悲鳴ですが、皆さん技能員の確保に苦勞されていると思います。この人材確保の問題につきましては、対策が課題だと思っています。技能員だけでなく機械もかなり高齢化しており、新しい機械を購入するにも値段が上がってきているという問題が出ております。このデータをまとめ、行政の方に数字で示す必要があるかと思ひます。機械のデータは日本建設機械施工協会と一緒に取り組んでいく予定です。また、労務単価の方も非常に高騰しております。物価スライドが間に合わない状況なので、一年前、二年前に仕事を受注して、今トンネルを施工している会社、ゼネコンは物価の高騰で苦勞しているのではないかと思います。この点についても国交省に相談したり、対策を練らなければなりません。今後、東京オリンピック、東北復興、リニア新幹線と、更にトンネルが増え、工事が本格的になってきます。少ない人間で無理をさせると当然安全にも影響が出てきます。安全なくして建設業はやっていけませんので、非常に深刻な問題です。災害が増えているという事は、技術の未熟の人達が、坑夫で入ってきているからではないかと思っています。我々トンネルの坑夫を育てるには、10年ぐらいの時間がかかります。免許も沢山必要です。人を育てるには経費がかかるという事を、しっかりと行政の人達に訴えたいと思っています。



来賓挨拶要旨

国土交通省 大臣官房 技術調査課長 田村秀夫 様



昨今いろんな流れが変わってきており、特に地方創生ということが内閣の最重要課題といわれておりますが、地方創生と共に防災、減災、新たなステージで物事を考えなければいけません。品確法が改正されましたが、社会資本整備の担い手の確保ということも、品確法の柱になっています。しっかりと意見交換しながらより良い社会資本整備を担っていく担い手の確保をしっかりと省を上げて取り組んでいきたいと考えております。

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課長 屋敷次郎 様



この数年、建設業が非常に忙しく光が当たってきてまして、その中で業界の皆様方、行政も何をしていくのかタックを組んでやっていく必要があります。品確法が改正されて適正な手順を確保できるよう発注者のほうも考え方を考えて対応していかなければなりません。担い手の確保をするためには、適正な利潤の確保が不可欠です。

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 田中敏章 様



今年に入っているいろいろな理由ではありますが、年初めにはそうとう雪が降り、事故がありました。消費税の値上がりに伴った駆け込み需要もあり、各方面忙しかった部分もあって事故が増えたのだと思います。災害防止について今日お集まりの経営者の皆様方に目を光らせて頂いて、皆様方が第一になって現場の安全を引っ張って頂くようお願い致します。

一般財団法人 建設業振興基金 専務理事 有木久和 様



品確法、安全の話は、毎日専門誌をにぎわしております。昨今の話でなんといっても業界、国の課題であります人材確保育成について、是非取り組んでいきたいと思っています。いろいろな関係も含め、雇用、環境の整備をやらなければなりません。是非このような観点から、トンネル業者の方の地位向上のために一生懸命努力していきたいと思っています。

一般社団法人 日本建設業連合会 安全委員長 伊藤寛治 様



建設業界は大変な環境変化の時にありますが、国民生活の安心、安全を担う建設業におきまして工事に伴う安全と環境はいかなる時代にあっても確保しなければならない重要な課題です。協会と合同で現場パトロールを実施しておりますが、こうした活動を継続することによって、建設業界が直面している様々な課題に対し、共に手をたずさえながら解決に向けた取組を行なっていく必要があると考えております。

行政講演

『改正品確法等について』

国土交通省 大臣官房 技術調査課 建設システム管理企画室長 高村裕平 様



建設投資、許可業者数、就業者数等、建設業を取り巻く経緯・状況を説明され、現在の建設産業の重要課題として、「建設産業の担い手の確保・育成」と「地域の建設産業の再生」があり、それらに対する国土交通省の取組について説明された。対策としては、技能労働者の処遇改善に向けた大幅な設計労務単価の引き上げや品確法、入契法、建設業法の「担い手確保・育成」に向けた三位一体の改正の内容について説明された。特に改正品確法については、改正の目的と基本理念の追加、発注者責務の明確化、多様な入札契約制度の導入・活用等について説明された。

『建設業における労働災害の増加とそれに対する対応』

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 野澤英兄 様



死傷災害、死亡災害発生状況の推移や最近の（平成23年度から平成25年度）建設業における死傷病発生傾向（減少傾向にあった死傷災害が3年連続して増加）、死亡災害について事故の型や、被災者年齢、経験年数等からの分析を説明された。特に平成26年1月～6月の建設業に関しては、死亡災害が前年同期比約30%増加となっており災害防止緊急要請を行ったことを説明された。又、対策については、12次防における建設業対策を中心に説明された。その他に労働安全衛生法の改正や建設工事関係者連絡会議の設置・運営等の概要についても説明された。

調査研究報告

『トンネル施工機械現場管理要員研修DVD』（施工環境委員会）

『品質確保を目的とした覆工コンクリート作業手順』（技術・情報委員会）

現場見学・研修会

平成26年10月17～18日に、兵庫県西宮市塩瀬町の名塩道路八幡トンネル工事で現場見学・研修会が開催され、42名が参加しました。

2. 開講挨拶(野崎会長)

目下、トンネル業界は、東北を初め全国的に忙しくなっています。トンネル業者が少なくなっている中、今後リーアの出件もあり増々忙しくなるので、専門業者が一体となって、お互い力を合わせてやって行きたいと思います。本日の見学現場は、超近接のめがねトンネルということで、非常に興味深い現場です。自社の現場を見るだけでなく、他社の現場を見て、参考になる所は自社に持ち帰り水平展開して頂きたいと思います。

3. 現場見学・研修(北新建設㈱ 倉地裕一所長より)



着工時は、工期の問題もあり、他業者が防音ハウスを組立っているすぐ隣で坑口付を行いました。トンネルが全部被るまで、7枠ぐらいの明り支保工をたてじやまのないようにしてほっておかない必要としました。当初、ツインヘッターで掘る予定でしたが、硬い地山で歯がたちませんでした。上り線南側に中国自動車道、トンネル上部に八幡神社、下り線北側にマンションが近接しており、火薬が使えないため、3tの大型ブレイカー2台で掘削することとしました。掘削時間はワンサイクル8～9時間で行い、何とか100mに到達したところで、上り線の施工を開始しました。施工は、上り・下り線を、3パーティーの片番施工により乗り切りました。騒音に関する地元対策として、貫通時のブレイカー使用は、朝9時から夕方5時までに制限されました。また、注入式フォアポーリング等の色々な補助工法を取り入れており、安全面においても、地表面の沈下地すべり変位を見える化し作業員の意識付けを行っています。工期は来年3月迄で、今後、インバート、覆工等幅輻した作業があり、工期的に難しい面もありますが何とか工期内に仕上げたいと考えています。

1. 工事概要

工事名: 名塩道路 八幡トンネル工事

発注者: 国土交通省 近畿地方整備局(兵庫国道事務所)

元請: ㈱鴻池組

施工: 北新建設㈱

掘削工法: 機械掘削

補助工法: AGF工法

低土被り: D=約22m～約7m

ズリ出し: 10tダンプ



トンネル施工機械現場管理要員研修会

平成26年9月27～28日に、腰巡トンネル工事でトンネル施工機械現場管理要員研修会が開催され、施工系会員5名、機械系会員6名の11名が参加がありました。



- ・新機械、新工種の説明があるとよい
- ・新工法、新型機械等の紹介、専門的にコンサル的考えが入ったらおもしろいと思う
- ・施工会社同士が意見できる時間を設けてほしかった
- ・現場でのメンテの必要性を社内報告する
- ・意見が充実していて、わかりやすい説明だった

等の要望・感想がありました。

国土交通省建設マスター顕彰式典

当協会が推薦した優秀施工者候補者への授賞が決定し、平成26年10月10日メルパルクホール(東京港区)での顕彰式典にて受賞されました。受賞者の皆様大変おめでとうございます。(敬称略)

金古 弘(拓進建設(株))

温水一彦(吉岡建設(株))



優秀施工者国土交通大臣顕彰
平成26年10月10日

トンネル専門協同安全パトロールの実施

平成26年10月20日に施工は吉田建設(株)、元請は西松建設(株)の佐久間道路 東栄地区第一トンネル新設工事(愛知県北設楽郡東栄町)にて、労務安全衛生委員会の委員と吉田建設(株)との合同による安全パトロールが行われました。油圧ショベルキャタピラー上に小カラーコンを設置し、オペレータが周囲点検するよう工夫されており良好でした。また、路盤については、湧水のため管理が大変ですが維持管理に努めてもらいたいとのことでした。



重機稼働時の周囲確認対策



火薬取扱所(外柵)



熱中症対策

平成26年度第2回登録トンネル基幹技能者講習

11月13日～16日に西日本会場(兵庫県三田市)にて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。9名の受講者は11月21日に行われた基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、全員の修了が承認されました。



修了証番号	所属組織名	氏名
第061411-00476号	木部建設(株)	田澤 淳一
第061411-00477号	木部建設(株)	藤澤 俊一
第061411-00478号	榊児玉組	山田 和好
第061411-00479号	成豊建設(株)	高橋 邦彦
第061411-00480号	北新建設(株)	吉田 誠司

修了証番号	所属組織名	氏名
第061411-00481号	吉岡建設(株)	赤間 治久
第061411-00482号	吉岡建設(株)	渡邊 俊尚
第061411-00483号	吉田直土木(株)	打越山 貴人
第061411-00484号	吉田直土木(株)	永松 勝男

また、10月25日に開催された更新講習で15名の方が修了証の更新をされました。

寝具リース・リネンサプライ

備品レンタル

 **野口株式会社**

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-24-7

TEL 03(3637)0611(代表) FAX 03(3637)6036

清潔で明るい毎日を、
お届けしたいから。



寝具・備品リース

野口株式会社は、寝具・備品のリース・レンタル事業を営んでいます。清潔で明るい毎日を、お届けしたいから。という思いで、お客様に最適なサービスを提供しています。また、お客様の要望に応じて、様々なサービスを提供しています。お問い合わせください。



株式会社エム・シー・エス

～トンネル工事の円滑化を目指して総合的なソリューションをお届けします～

事業内容

- トンネル用建設機械の整備・フィールドサービス及び改造・設計製作
- トンネル用建設機械の販売・レンタル
- CAD図による現場使用機械の選定・提案営業
- 補修部品及び用品類の製造・販売

※ 詳細は、弊社ホームページを御覧下さい。

<http://www.mcs-y.com>



H-195トリルジャンボ 3ブーム2バスケット ホールタイプ



**サンドビック 新型油圧ジャンボ
DT1131JP の特長**

- 排ガス4次規制基準への対応
- 高性能コンピュータ・システム
- コンスタントスピード・ドリリング（自動穿孔装置）
- トンネル断面積 50 m²～178 m²まで対応
- 3ブーム2バスケット ⇄ 2ブーム1バスケット、
コンバージョン可能

SANDVIK

協会からのお知らせ(今後の予定)

- ・平成新春セミナー、賀詞交歓会
- ・平成27年度第3回登録トンネル基幹技能者講習(富士教育訓練センター)

平成27年1月30日
平成27年2月5日～8日

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors

日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL: <http://www.tonnel.jp>